

(件名)

静岡県緑化推進計画の取組総括について

(静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課)

1 静岡県緑化推進計画の成果と課題

(1) 基本方針ごとの成果と課題

基本方針1 花と緑を慈しむ文化の創造

- (1) 花と緑のある安らぎの場の拡大
- (2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大

成果	<ul style="list-style-type: none">・地域で活動する緑化活動団体は令和7年度実績で累計で311団体となり、県内の様々な場所で緑化活動が行われ、地域住民や来訪者に安らぎの場を提供している。・芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数は令和7年度実績で88箇所となり、子どもの頃から芝に親しむ場を創出している。
課題	<ul style="list-style-type: none">・猛暑の影響により、緑化活動をはじめとした屋外での活動が著しく制限を受けている。・花苗や緑化木の選定、芝生の維持管理に当たっては、近年の急激な気候変動や生物多様性保全の観点を考慮する必要がある。

基本方針2 花と緑による地域の魅力向上

- (3) 花と緑によるおもてなし空間の創造
- (4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信

成果	<ul style="list-style-type: none">・多くの人が行き交う公共の場所に整備されたおもてなし花壇は地域のシンボルとなり、緑化ボランティア団体により維持されている。・静岡県さくらの会が提供する「さくら開花情報」は、県内各地のさくらの開花状況を一目で把握できるサイトとして定着している。
課題	<ul style="list-style-type: none">・公共施設の緑化について、施設管理者と緑化活動団体との連携が十分に取られていない。・暮らしの空間の緑化や、各種講座による緑化人材の育成など様々な取組を行う一方で、取組のPRや情報発信が不十分である。

基本方針3 社会総がかりの緑化活動

(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進

(6) 緑化活動の核となる人材の育成

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・しずおか未来の森サポーターとして活動する企業は令和7年度実績で161社となり、緑化活動の新たな担い手となっている。 ・静岡県グリーンバンクが開催する各種講座により、緑化活動の核となる人材を育成している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や高齢化等により、暮らしの空間の緑化や棚田、里地里山の維持・保全が年々困難になっており、実際に活動を担う人材の確保が必要である。

(2) 指標ごとの成果と課題

- ・令和7年度末時点で計15件ある目標値は、下表のとおり、9件の目標値において高い成果を上げることができた。
- ・一方で、5件の目標の達成率が低かった。

● 目標を達成したもの	7件
・自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数 (環境ふれあい課)	
・地域の緑化活動団体数 (環境ふれあい課)	
・緑化優良工場としての受賞件数 (企業立地推進課)	
・静岡県さくらの会ホームページアクセス数 (環境ふれあい課)	
・ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数 (農地保全課)	
・しずおか未来の森サポーター企業数 (環境ふれあい課)	
・緑化コーディネーター養成講座修了者数 (環境ふれあい課)	
● 達成率90%以上100%未満のもの	2件
・芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数 (環境ふれあい課)	
・森づくり県民大作戦参加者数 (環境ふれあい課)	
● 達成率80%以上90%未満のもの	0件

●達成率 80%未満のもの

指標	達成率	考えられる要因
豊かな暮らし空間 創生住宅地の区画数 (住まいづくり課)	63.2%	建設資材、人件費、運搬費等の高騰により新規住宅着工件数は減少し、新規の宅地整備が難しい状況であることから、事業進捗に遅れが生じている。
複数の園庭・校庭に 芝生を導入している 市町数 (環境ふれあい課)	54.3%	少子高齢化の影響で幼稚園、保育園自体の数が減少しており、芝生を導入した園庭・校庭で見れば達成率は8割になるが、「複数の」という部分がネックとなり、事業進捗に遅れが生じている。
緑化コーディネーター、 芝生アドバイザー 派遣箇所数	72.1%	事業実施の要望団体はあったものの、芝生化補助の対象外となったことにより派遣に至らなかった事例や、維持管理体制や費用負担等に課題を抱える団体もいたことが要因と考えられる。
花育活動受講者数 (農産振興課)	62.6%	本指標を設定していた5年間で、4年間は達成率89%以上だったが、R7年度は学校等が実施する園芸教室等への講師（花の都しずおかアドバイザー）派遣依頼の減少に伴い達成率が低下した。
市町主催花緑コンクールの 応募件数 (参考指標：環境ふれあい課)	63.4%	コンクール応募者の高齢化、固定化からコンクール自体を廃止する市町が多く、事業進捗に遅れが生じている。

●R7 実績が公表されていないもの

指標	達成率
全国花のまちづくりコンクール受賞件数 (参考指標：環境ふれあい課)	84.1% (R6年度末時点)

(3) 新たな課題

- ・近年の急激な気候変動等により、静岡県緑化推進計画を策定した平成29年度と比較して緑化を取り巻く環境は大きく変化しており、緑化施策はカーボンニュートラルや生物多様性の保全など、様々なテーマと組合せて複合的に対応することが必要になっている。